

感震ブレーカーアダプター

ヤモリ【GV-SB1】

# 取付説明書

江東区

# 【事前確認】



まず箱からヤモリを取り出してください。  
本体+アルコールパッドが入っています。

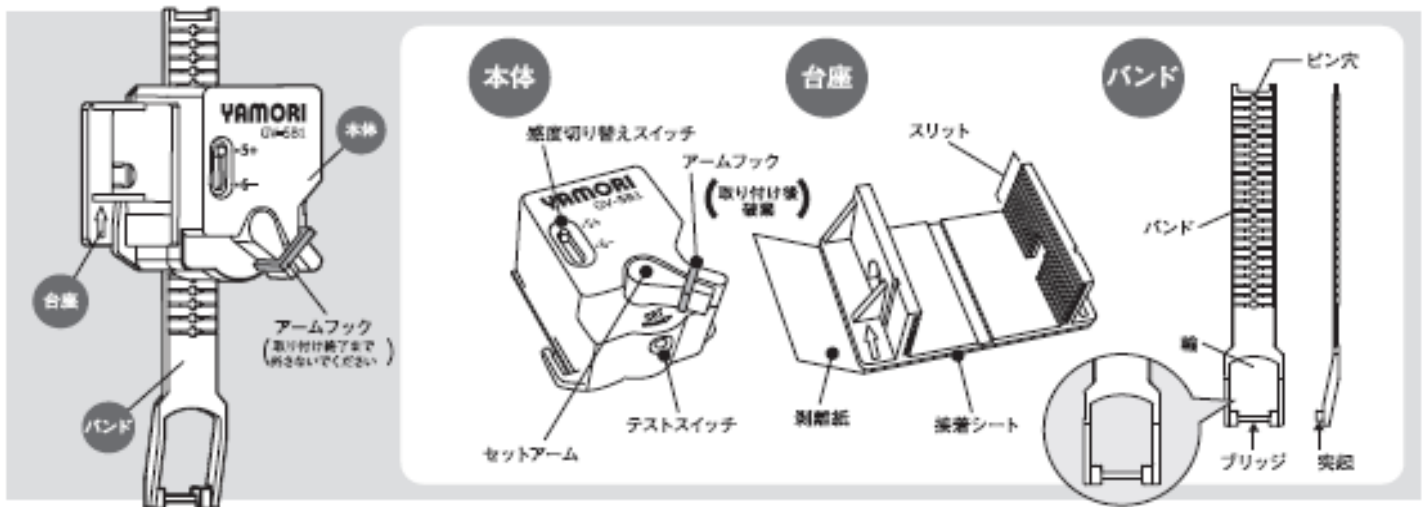
ヤモリ本体

アームフック（赤色）

バンド

アルコールパッド  
（取り付け箇所の清掃に使います）

## 各部の名称



### 製品の構成

- 本体：1個（構成：本体、台座、バンド、アームフック 各1個）
- アルコールパッド：1枚
- 取扱説明書（本書）：1部 ※詳細したら構成品をご確認ください。

### お客様にご用意いただく物

- はさみ（取り付けの際にバンドが長い場合、カットする為の使用）

## 【注意事項】（必ずお読みください）

- (1) **赤いフック（アームフック）** は取り付け完了まで外さないでください。
- (2) 取り付け位置確定後、添付のアルコールパッドで必ず分電盤の接着面を清掃してください。アルコールパッド使用后、必ず乾燥（2～3分程度）させてください。
- (3) パソコン、録画機器、炊飯器等の電機製品の電源が切れている事を確認してください。
- (4) 昼間の明るい時間帯に作業してください。（テスト時にブレーカーを遮断します。）
- (5) ホームセキュリティにご加入の場合、停電になる旨を事前に警備会社へご連絡ください。（事前通知しない場合、緊急出動がかり別途費用が発生する場合があります。）
- (6) ご自宅内に人工呼吸器などの生命維持に関わる医療器具が設置されている場合は、医療器具補助電源が確実に動作することをご確認の上、取り付けしてください。

### ● よくある質問

#### ◇セットレバーがセット場所に固定できない。レバーがかからない。

ヤモリは垂直な状態でなければセットアームが固定できない構造となっております。水平、斜め、逆さまの状態ではレバーがかかりませんが、不良や故障ではありません。

#### ◇ヤモリはどこにつけるの？

**漏電ブレーカー**または、**アンペアブレーカー**へ取り付けいただきます。  
取り付ける場所は、ブレーカースイッチの上か下になります。  
（将来的にアンペアブレーカーを撤去する可能性があり、どちらかといえば漏電ブレーカーへの取り付けをお勧めしております。どちらも効果は同じです。）

※ 製品を箱から出した状態では、スイッチの上に取り付ける形になっております。  
スイッチの下へ取り付ける場合は、バンドの向きを変更する必要があります。  
**（6ページをご参照下さい。）**

※ 埋込タイプのスイッチの場合、台座の調整が必要です。  
**（7ページをご参照下さい。）**

### ● 備えの必要性

大地震により感震ブレーカーが作動すると、ご自宅の電源が全て遮断され電気も消えます。また、台風・事故などその他の災害でも停電は発生します。常日頃からそのような災害を想定し、懐中電灯や災害用常備灯などの照明器具、電池式ラジオ、などの防災用品を併せてご準備いただきますようお願いいたします。

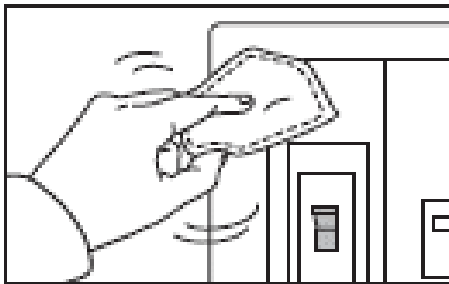
## 【基本取付方法】

### ① 接着位置の清掃

接着位置が決まったら、乾いた布で拭いてホコリを取り除きます。  
付属のアルコールパッドを使い接着部分をきれいにします。

※ アルコールが乾くまでは貼付けしないでください。

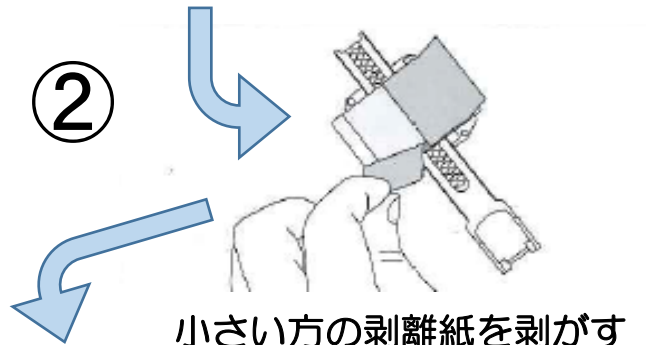
布で軽く拭く



アルコールパッドで仕上げ



### ②

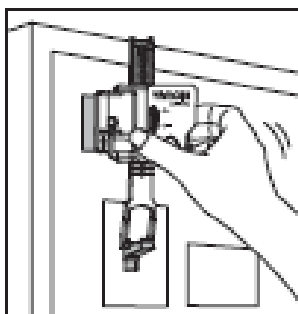


小さい方の剥離紙を剥がす

### ③ 仮固定

バンドを目安に、垂直になるように手で持ちます。バンドのブリッジ先端をブレーカーのレバーに軽く押し当て、本体を分電盤に押し付けます。

※ 画像はスイッチ上部への取付けです。スイッチ下部への取付けは、バンドを上下逆に付け替える必要があります。(6ページ参照)

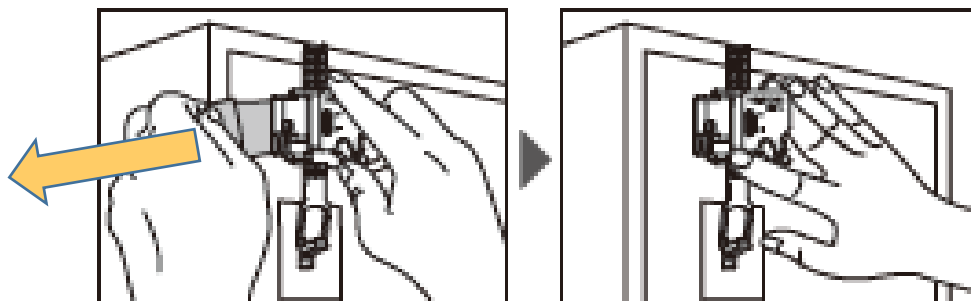


#### チェックポイント

- バンドはほぼ垂直ですか？
- レバー突出型の場合、バンドのブリッジがレバーにあたっていますか？
- レバー埋込型の場合、本体が台座の最下段のスリットに入っていますか？  
バンドの突起がくぼみに入って、レバーにあたっていますか？
- チェックの結果修正が必要な場合、仮固定をはがしてやり直してください。

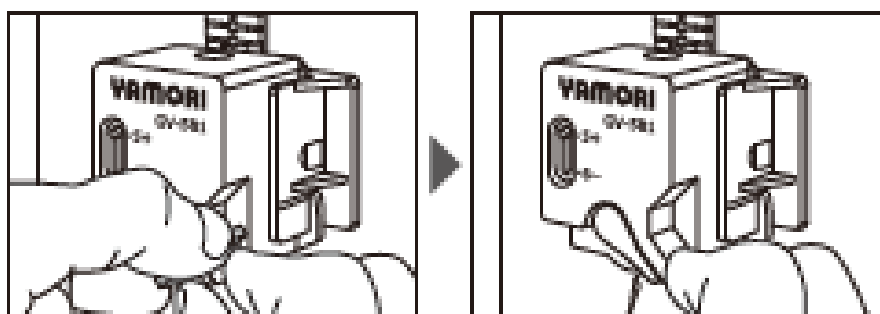
## ④ 本固定

外に出ている大きい剥離紙を左側へ引きながらはがします。  
次に、ヤモリ本体を5回程強く分電盤へ押し付けてください。

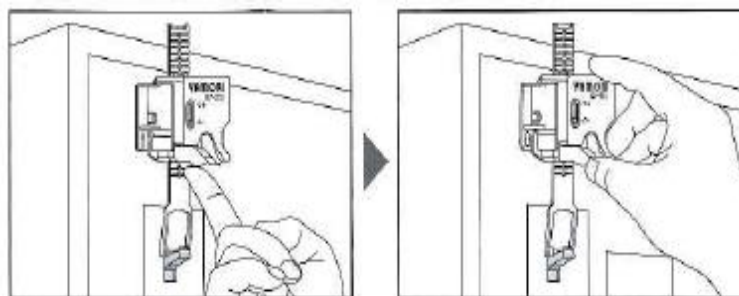


## ⑤ アームフックの取外し

右手でセットアームを軽くつまみ、左手でアームフックを手前に引いて外します。右手はそのままセットアームをさらに強くとつまみセットします。



## ⑥ 動作テスト



**赤いテストスイッチ**を押し、電源が落ちたらOKです。  
再度、セットアームを右にカチッとロックさせ  
ブレーカーのレバーを上げセット完了です。

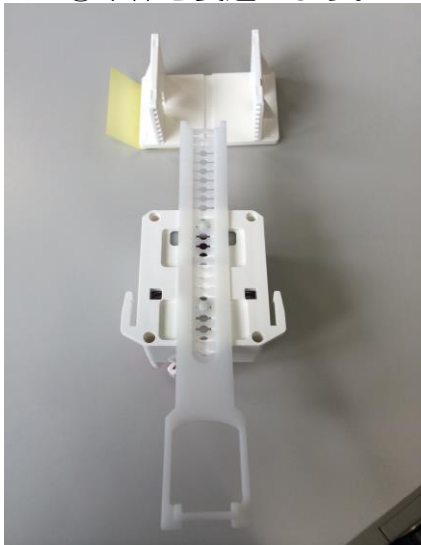
# 【バンド向き変更方法】

①本体と台座をスライドさせ分離。

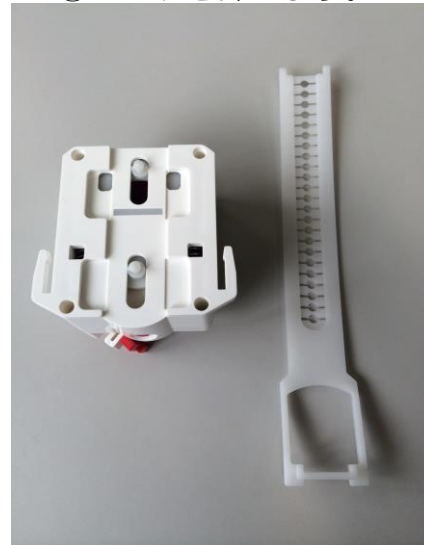


(下方へ本体をずらす)

②本体を裏返します。



③バンドを外します。



④バンドを上下逆に付け替えます。



⑤本体を台座へ戻します。



⑥準備完了です。



(今度は下から上へ差し込む形で)

## ※ 取り付けイメージ画像



●分電盤の形状に合わせ、バンドの長さや本体と台座の高さは調整してください。

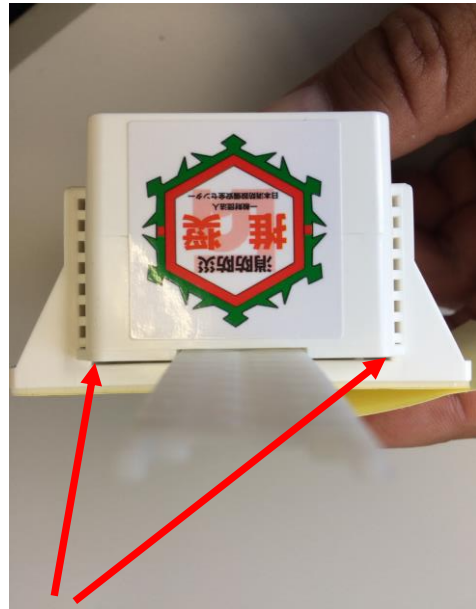
●プレーカーのレバーに、バンドの口を引っ掛けるような形で取り付けます。

# 【埋込型スイッチへの取り付け方法】

①台座と本体をスライドさせて外してください。

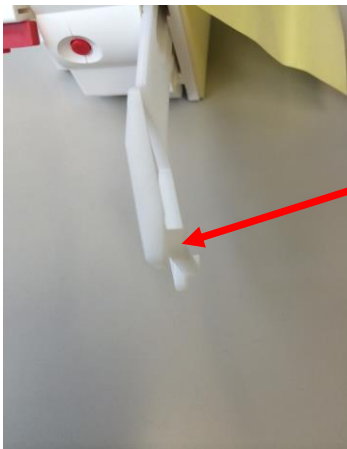


②台座の一番下のスリットへメモリ本体を取り付け直してください。



この部分です。

③矢印部分の突起をスイッチへ入れ込んで位置合わせを実施してください。



この部分



④位置合わせ後、両面接着にて固定してください。



●埋込型スイッチの場合も、スイッチの下側に設置の際は、バンド上下逆に付け替えていただく必要があります。  
(6ページ参照)

## 【ヤモリ・デ・リモートについて】 (設置ありでお申し込みください)

フタ付きの分電盤にヤモリを取り付けるとフタが浮きます。  
ヤモリとヤモリ・デ・リモートを組合せますと、フタを収まりよく閉じることができます。  
フタ付きの分電盤に設置をご希望の方は「設置あり」でお申し込みください。



ヤモリ・デ・リモート

フタ付き分電盤にヤモリを取り付けると  
カバーが浮く。(作動に支障はありません。)



ヤモリ + ヤモリ・デ・リモートの組合せで  
フタが収まりよく取り付け可能です。



## 【補助板について】 (設置ありでお申し込みください)



ヤモリの設置スペースがない場合、  
補助板を利用して設置ができる  
ケースもございます。  
補助板を利用した設置は困難なので、  
設置ありでお申し込みください。



# 【取り付け不可（困難）例】

## 例① スイッチが堅い



河村電器産業(株)製は堅い傾向があります。パワーヤモリ（別売）のご使用で設置可能です。また、分電盤のはめ合わせパネルが動く場合には、画像のようにテープで固定する事で対応可能です。

## 例③ スイッチが堅く幅が広い



ブレーカーの上部に取り付けする事ができれば、パワーヤモリ（別売）のご使用で設置可能です。

## 例② スイッチストロークが長い



パワーヤモリ（別売）のご使用で設置可能です。

## 例④ アンペアが大きい（75A、100A等）



パワーヤモリ（別売）のご使用で設置可能です。

### 例⑤ 開閉器タイプ



こちらの機器へは設置はできません。  
分電盤への交換をお勧めします。

### 例⑥ 金属製蓋観音開き分電盤（ふたが閉まらない）



蓋と枠を加工し、ヤモリ・デ・リモート（別売）のご使用で設置可能です。ただし、金属製の蓋や枠は加工が難しく、電気業者等に依頼することをお勧めします。

### 例⑥ カマボコ型（表面が湾曲している）



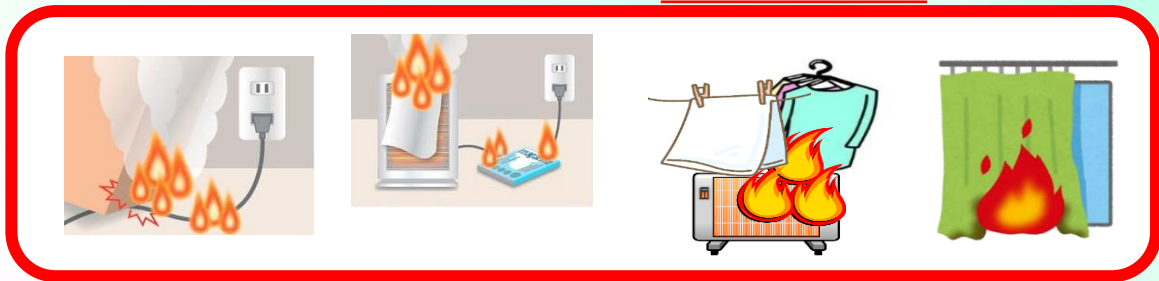
ゆるい湾曲の場合、ブレーカースイッチにバンドがかかればほぼ問題ありません。ただ、スイッチの上に取り付けると、曲線度合いにより稀にバンドが滑ってスイッチが落ちきらない場合がございます。そのような場合はスイッチの下側へ取り付ければ問題ありません。曲線がきつい場合は当社が指定する両面接着材を使用し、スペーサーを作成すると設置可能です。

## 【作動後の復旧方法 注意点と手順】

### 感震ブレーカー作動後の復旧方法(注意点)

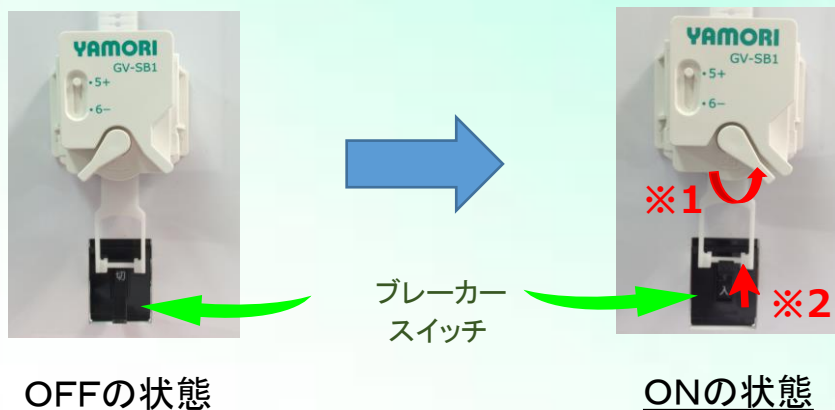
1. 建物が全壊や半壊となった場合には復旧しないでください。
2. 通話可能な電話と使用可能な消火器を用意してください。
3. 復旧作業は日中になるべく2名以上で行ってください。
4. 電化製品のコンセントを全て抜いてください。

### チェックをしないとこんな事に



### 感震ブレーカー作動後の復旧方法(手順)

- ・最初に、分電盤の子(分岐)ブレーカーを全てOFFにします。
- ・次に、【ヤモリ】のレバーをロックされるまで右側に捻りONにします。※1
- ・【ヤモリ】がセットされているブレーカーをONにします。※2
- ・最後に、安全を確認しながら子(分岐)ブレーカーを1つずつONにします。



★漏電ブレーカーは、ONの状態に戻す時にリセットしないとスイッチが戻らないタイプがありますのでご注意ください。(リセットとは、リセットボタンを押しながら、又は一度押してから戻す、或いはスイッチを一旦下げきってから戻すなどの方法があります)